



2021年5月12日

各位

会社名：株式会社ルネサンス
 代表者名：代表取締役社長執行役員 岡本 利治
 (コード番号：2378 東証第一部)
 問合せ先：取締役常務執行役員 安澤 嘉丞
 最高財務責任者 経営管理本部長
 (電話番号 03-5600-7811)

特別損失（減損損失）の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）において、特別損失の計上とともに、2020年10月28日に公表いたしました2021年3月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の保有する固定資産のうち、コロナ禍において収益性の低下が認められた36施設について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、特別損失（減損損失）3,817百万円を計上しました。

2. 通期連結業績予想と実績値との差異について

① 2021年3月期連結業績予想と実績値の差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 32,000	百万円 △4,000	百万円 △4,500	百万円 △4,500	円 銭 △250.94
実績値(B)	30,209	△4,602	△4,902	△8,705	△485.43
増減額(B-A)	△1,790	△602	△402	△4,205	-
増減率(%)	△5.6	△15.1	△9.0	△93.4	-
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	45,049	3,267	3,042	1,378	84.67

② 差異が生じた理由

2021年3月期の通期連結業績予想におきましては、2020年10月28日の時点で入手可能な情報をもとに、下半期においても新型コロナウイルス感染症再拡大による消費への影響を一定程度見積もっておりました。しかしながら、2021年1月に発出された2度目の緊急事態宣言による消費マインドの想定以上の冷え込みに加え、対象地域施設の営業時間を20時までに制限したことにより、入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等が生じ、当初想定よりも減収減益となりました。

上記影響を受けて、2021年5月末をもって閉店する2施設および、短期的に回復の見通しが立たない34施設を減損損失（特別損失）として計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失についても業績予想を下回りました。

③ 今後の見通し

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の通りです。

以上